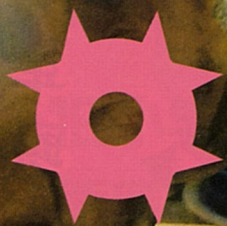


いかわ



# 議会 だより

No. 153

2023. 1. 1

新年号

謹賀新年

令和五年  
卯  
の  
年

飯田川さぎまい工房

# 12 月議会

(会期・12月6日～9日)

|               |   |                     |    |
|---------------|---|---------------------|----|
| 年頭のあいさつ ..... | 2 | 臨時会・陳情・議長全国大会 ..... | 13 |
| 第4回定例会 .....  | 3 | 全員協議会・議員大会など .....  | 14 |
| 常任委員会 .....   | 4 | 行政視察・現地調査 .....     | 15 |
| 7議員一般質問 ..... | 5 | 私のひとこと・議会のうごき ..... | 16 |

# 議長年頭あいさつ



井川町議会 議長 遠藤 政勝

新年おめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より、議会に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年にも新型コロナウイルスの感染がとまらず、日常生活においても対応に変な年でもありました。それでもお盆以降は5回目のワクチン接種、治療の承認等開発も進んできております。感染拡大防止を図りながら、社会経済活動の維持、活性化も必要になってきました。

今年の干支は「癸卯（みずのと・う）卯は穏やかで濃厚な性質であることから「家内安全」、また「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。この様な年になる事を願っております。

議会の使命は町の具体的な施策を最終的に決定すること、議会が決定した町の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施がすべて適法、適正に、しかも公平、効率的に、そして民主的になされているかどうかを正しい意味での批判をし、監視することであります。そしてこれが地方自治法の根幹でもあります。

今年も町と両輪で、小さくとも安全安心でキラリと光る町づくりに努めてまいります。

議会では昨年、議会基本条例を制定し、いままで以上に議会での自由闊達な討議を重ねてきております。

又、議員定数と報酬についても特別委員会を立ち上げ、年内には結論を出す予定で検討を進めております。

結びに、新しい一年が穏やかで災害のない、そして皆様にとって幸多き年であります様に心からご祈念申し上げます、新年のあいさついたします。



町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします

今年もよろしく

お願いいたします



議長 遠藤 政勝  
副議長 浅野 義幸  
議員 高橋 剛

伊藤 俊郎  
松田 弘咲  
石井 茂  
三浦 晃  
佐々木 昌子  
鷺谷 清利  
草階 廣治  
工藤 久兵衛  
三浦 成利

事務局長 鷺谷 康之

(議席順)

- 旧小学校解体・体育館等一部残す方針
- 循環器検診は来年度より秋田県総合保険事業団に変更
- 桐ヶ丘療護園建替用地として隣接町有地を無償譲渡
- 職員の定年を10年かけて段階的に65歳に引き上げ

## 12月定例会議決事項名

- 井川町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について
- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
- 井川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について
- 井川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 井川町歯科衛生センター条例を廃止する条例について
- 井川町・潟上市共有財産管理組合規約の一部変更について
- 秋田県及び井川町における生活排水処理事業の運営に係る連携協約の締結に関する協議について
- 財産の無償譲渡について
- 令和4年度井川町一般会計補正予算(第5号)について
- 令和4年度井川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について
- 令和4年度国民健康保険井川町診療所特別会計補正予算(第2号)について
- 令和4年度井川町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について
- 令和4年度井川町水道事業会計補正予算(第1号)について

第4回定例会は6日～9日の会期で開かれ、条例改正等・一般会計及び特別会計・水道会計の補正予算等13件を原案どおり可決。  
また、陳情7件を採択とし、それぞれ関係機関に意見を提出することにした。  
令和4年度一般会計補正予算は4,260万円を追加し、32億6,590万円とした。

## 令和4年度一般会計補正予算(第5号)の主なもの

### ◆歳入

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| 普通交付税                       | 1,530万円追加 |
| 特別交付税                       | 470万円追加   |
| 保育料負担金                      | 188万円追加   |
| 公共土木災害復旧費国庫負担金              | 378万円追加   |
| 出産・子育て応援交付金国庫補助金            | 66万円追加    |
| 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 | 157万円追加   |
| 国民健康保険基盤安定県負担金              | 104万円追加   |
| 森林環境整備基金繰入金                 | 100万円追加   |
| 前年度繰越金                      | 231万円追加   |
| 後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金返還金      | 772万円追加   |
| 道路災害復旧事業債                   | 180万円追加   |

### ◆歳出

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| 人件費             | 152万円追加   |
| 燃料費             | 131万円追加   |
| 光熱水費            | 1,143万円追加 |
| 国民健康保険事業特別会計繰出金 | 187万円追加   |
| 児童手当費返還金        | 128万円追加   |
| 保育料支援費補助金       | 188万円追加   |
| 出産・子育て応援交付金     | 100万円追加   |
| 創業等チャレンジ支援事業補助金 | 100万円追加   |
| 道路補修工事          | 200万円追加   |
| 林道災害復旧工事        | 295万円追加   |
| 道路災害復旧工事        | 568万円追加   |
| 橋梁災害復旧工事        | 283万円追加   |

# 災害復旧に早急な対策を

## 主な審査の内容

### 総務課

**問** 医師の定年が引き下げられるとの事だが、現在の医師の年齢は。

**答** 61歳。ただし、単年度での委託契約であるため、次年度に契約を結ぶかは、本人との話し合いで決められる。

**問** 育児休暇を取得できない職員として「異動期間を延長された管理監督職員」とあるが、何故か。

**答** その部署にその職員が不可欠であることから、対象とはならない。

**問** 職員の給与に関する条例の一部を改正することについて、引き上げの



職務に励む役場職員

根拠はなにか。

**答** 国家公務員の号給表をベースとして秋田県で作成した給料表と同じくしている。若年層の給与の上がり幅が大きくなるように調整されている。

**問** 4号給あがると伺ったがどうか。

**答** 定期昇給において4号給分の昇給があるが、本改正は号給自体の給与額が変動するものである。

**問** 住宅用太陽光発電システム設置費の補助額について、どのような根拠で見込まれているか。

**答** 元となる県の補助事業に町単独で上乘せをしている。発電量1kwあたり2万円、5kwを見込み、10万円としている。2名分の見込み。

### 産業課

**問** 林道災害はどのように復旧するのか。

**答** 路肩は土砂を取り除き、ふとんかごを設置し

芝張りをする。法面は整形し芝張りをする。

**問** 創業等チャレンジ支援事業補助金について具体的な説明を求めろ。

**答** (株)ひない鶏食品が新しい役員で設立されたことにより支援事業の対象となる。法人設立に係る経費及び施設改修のための支援金となっている。

**問** 河川の流れを変えて土砂の堆積が無くなる工事はないのか。

**答** 災害復旧事業なので現状復旧となる。堆積し



大雨の被害にあった災害現場  
林道施田黒坪線

ている土砂の撤去は県に要望していく。

### 町民生活課

**問** 一般会計繰入金金の確定に伴って特別会計の繰越金を減額したが、実際の繰越金の額はどのくらいか。

**答** 昨年度の決算収支は4,946万8千円である。現段階で予算額が2,511万6千円となっているため実際にはおよそ2,400万円程の乖離がある。

### 健康福祉課

**問** 光熱費の増額について、電気量はもう値上がりしているのか。

**答** 値上がりしている。今後また年明けから値上がりする分も含めてはいるが、不足すれば3月に追加の可能性もある。

**問** 児童手当について、人が増えたことによる増額なのか。

**答** 出生した人が増えたことによる増額。年間15人の出生見込みとしていたが、昨年度25人出生したため、当初予算から乖離した部分の追加。後は転入等もあるので、その分も追加している。

### 税務会計課

**問** 自動車共済金での事故の件。軽トラック2件とあったが同じ軽トラックか。

**答** 同じだが、運転手が違う。

# 7人の議員 一般質問

定例会初日（12月6日）に一般質問が行なわれ7人の議員が町政について質問した（質問順に掲載）

|     |   |
|-----|---|
| P6  | 三浦 成利 議員（一括質問方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 移住定住促進について</li> <li>2 野生鳥獣被害対策（主にイノシシ）</li> </ol>                          |
| P7  | 佐々木昌子 議員（一括質問方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員採用の年齢幅について</li> <li>2 義務教育学校でのいじめや不登校は</li> <li>3 物価高騰の救済について</li> </ol> |
| P8  | 松田 弘咲 議員（一括質問方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 町長選出馬表明を求む</li> <li>2 この4年間の重要課題への総括</li> </ol>                            |
| P9  | 石井 茂 議員（一問一答方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食費の無償化について</li> <li>2 保育環境の向上について</li> <li>3 インボイス制度への対応は</li> </ol>     |
| P10 | 鷺谷 清利 議員（一問一答方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 人口減少緩和対策について</li> <li>2 「いかわ創造大学」の開設について</li> </ol>                        |
| P11 | 浅野 義幸 議員（一括質問方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 農家負担ゼロの基盤整備への基礎作りについて</li> <li>2 社会問題化している空き家事情について</li> </ol>             |
| P12 | 三浦 晃 議員（一問一答方式）<br><ol style="list-style-type: none"> <li>1 運転免許証の返納について町独自の支援策は</li> </ol>   |

白抜きの数字は掲載された質問です。紙面の都合により掲載できなかった質問など詳細は議事録で見ることができます。

議会事務局にお問い合わせ下さい。

## ◆ 一般質問とは ◆

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものである。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は一人につき30分以内で完了することとされている。

質問方式は一括質問方式と一問一答方式の選択制となっている。一括質問方式は再々質問までとされている。

# 一般質問

## 町の移住定住促進策は 意識をしながら政策展開



なりとし  
**成利**  
議員  
みうら  
**三浦**

**三浦** 企業誘致を進め「企業支援金」に

加え町独自の支援金をプラスして他町村と差別化を図り、移住のきっかけづくりをしてみるなどの考えはないか。

**町長** 現在の企業誘致と

いうのは単町だけでは完結しない。近隣市町村と連携をとって粘り強く誘致をする。また企業の規模等にもよるが、企業誘致は基本的には現地雇用が基本である。起す業ということ、新たに事業等にチャレンジするという方を支援し、町内経済の活性化、また新しい取り組みを応援する「創業等チャレンジ支



小菅生沢に設置したイノシシ用檻おり

援補助金」というのを開始している。移住するための土地の確保は引き続き必要なことであると認識している。

**三浦** 子育て支援などの

子育てサポートは（子育てしたくなる町づくり）、今以上の施策が必要と考えるが。

**町長** これまでも力を入れてきた。今以上の政策が必要というとい

ろいろなことがやれるかと思う。問題意識として持っているのが子育て支援に加えて結婚前からの若者の支援に力を入れていくべきと思っている。自治体がなかなか絡めない時期であり、意識をし

ながら政策展開を図っていくことが必要だと感じている。

**三浦** 町長になって現在までの定住策についての効果や結果については。

**町長** 正直言うとなかなか見つけられない。若者の定住促進住宅を建てたり、結婚新生活の支援事業も実施している。より良い結果につながると期待をして一生懸命頑張るということで今後も取り組んで参りたい。

## 農家は本気！町は？ 試行錯誤しながら前向きに

**三浦** 今年のイノシシの

生態、捕獲状態を踏まえこれからのイノシシ被害防止策をどう考えるか。

**三浦** 農家個別にいろんな方法、物でイノシシ対策を行ってきた

が、いまだ効果がみられる対策が見つからない。経済的負担、精神的苦痛に悩まされている。

**町長** 今年の被害範囲、

目撃範囲というところが拡大しているという指摘は我々も認識をしている。現在町では箱罠を設置し捕獲を試みている。また、くくり罠の検討を進めている。

**町長** 農家さんが個々に

実施している対策に町としても前向きに支援していく。これは農家さんと共同での試行錯誤になるかと思う。



# 一般質問

## 職員採用の年齢幅について

### 今は引き上げる考えはない



さ さ き しょう こ  
佐々木昌子  
議員

**佐々木**

令和5年4月採用の職員採用試験について、「広報いかわ11月号」に掲載があった。受験資格が新卒の他に、30歳まで幅が広がられている。その幅を更に広げ、即戦力として住民のニーズに対応すべく、10年以上の社会人経験のある方の募集は考えてはいないか。

**町長**

現在町では一般行政職の職員採用ということで30歳を年齢制限として、試験を実施している。何人かは社会人経験を有する方も採用している。今の職員構成は

一般行政職が47名だが、若い世代が大半を占める状況にある。年齢幅を広げて35歳までという事は現実的に考えていない。

また、35歳から45歳の中間層や、技能職といった職員の採用は、前向きに考えていく。

## 学校での

## いじめや不登校は

## 子ども達の自主性を引き出す

**佐々木**

これまで二度程、義務教育学校においてのいじめや不登校について質問したが、その後の状況はどうか。いじめが原因で不登校になっている児童、生徒はいるか。数的にはどれくらいか。学校で改善された点はあるか。また、この先どう対応していくか具体的に聞きたい。

**教員**

先月の調査でいじめ認知件数は6件で、昨年同期よりも3件減少。冷やかしゃからか

いがある。6件とも全て解決済みである。また不登校については、昨年来秋田県の平均を若干上回っている状況が続いている。学校や家庭環境、友達との関係などが複合的に不登校の要因となっており、いじめが主因の事案は現在ない。

改善された点として、一つは不登校の子ども達に多くの先生が接するようになってきたこと。町の民生委員なども積極的に家庭訪問を行ってくれる体制ができ、担任以外との繋がりができるよう



思いやりのある学校を目指して

教育委員会としては、こうした方向性をこれからも支援すると共に、県の「不登校の適応教室」から指導員を招いての講習会を開き、先生方の専門性を更に高める取組を引き続き進めていきたい。

になったと感じる。もう一つは、不登校でない児童生徒の変化である。生徒会役員選挙では今までになかった公約で、みんなが行きたくなるような学校、いじめのない思いやりのある学校というスローガンが登場した。今後の方針として、子ども達の自主性を最大限に引き出していく。専門家の知見をもらって開かれた対応をする。

### これも質問

物価高騰での救済は

# 一般質問

## 町長選、出馬表明を

### 3期目に出馬する



まつだ こうさく  
松田 弘咲  
議員

**松田** 町民の多くは、現町長の続投を望んでいると察するところである。年明け正月には選挙となるが、現時点立候補者の声は上がっていない。今後への思いを含め、正式な出馬表明を求める。

**町長** 全ての町民が協力し合い、笑顔で生活できる町づくりの実現に向けて、8年の経験と反省を生かし、社会情勢の急速変化にスピード感をもって、全力で町政運営に向かう決意を固めた。基本となるのは仕事・結婚・出産・育児までの若者支援、生まれ育った地域に誇りと自信

をもつ子ども達の育成、健康寿命の延伸、農業をはじめとする産業振興、また誰もが暮らしやすいと思う仕組み作り。自治体運営は一層厳しいものとなるが、身の丈に合った健全な財政運営

## この4年間の重要課題への総括

### 未来への投資が手薄になった

**松田** 町長は、今期重要課題として3点挙げていたが、これへの総括は。

**町長** ○日本国花苑の再整備と旧小学校の再利用について

町づくり懇談会での意見交換を踏まえ解体する方針とした。耐震補強工事、太陽光パネル設置など補助金を利用した施設であり、解体時期の制限又、体育館などの引き続き使用となれば、電気、水道布敷の引き直し等もあ

を基本に、稼げる地域作りと次世代を担う人材育成を意識しながら、町民の声を聞き、引き続き町政運営に取り組みべく来年の町長選挙への立候補を表明する。

り、様々なパターンを勘案しながら進めたい。○農業振興について

担い手不足により、農地荒廃が懸念される中山間地に対し、負担軽減策としての補助、支援を実施するも未来への投資が手薄になっていること

○若者向け住環境整備について

民間の賃貸住宅建設方針で整備を進め、共働きの若者夫婦が所得制限に該当し町営住宅に入居できない状況を解消。8戸

満室となっており、一つの成果と見ている。若者の移住、定住には賃貸住宅の増加、住宅地としての土地の確保が引き続き重要課題。

**松田** 総括を踏まえて2点ほど提言したい。

中山間地の圃場整備推進を、プロジェクトチームの設置で進めるべきでは。

一定の要件を満たすことにより、事業費の農地所有者負担が無くなる。要件クリアなど事業開始には関係者の合意形成が一番の難関である。難関



年々老朽化が進む空き家

突破体制としてのチーム編成を町長はどう考えるか。

二つ目は、住環境整備としての空き家対策。老朽空き家の放置は近隣住民の大きな不安要素である。一戸50万円限度での撤去費用工事費補助を、近年の工事費増に鑑み70〜80万円程に引き上げ支援すべきでは。

**町長** 圃場整備の件については、大きい事業案件であり、産業課全員一丸対応がプロジェクトチームと理解願いたい。制度の周知、アンケートを実施し、地区を絞って進めたい。

住環境の整備については、現在方策含め補助上限額、条件等の見直しを進めている。又、国の不良住宅の除去費用補助（国4割、自治体4割、所有者2割）事業があり、活用前提となる町の空き家等対策計画策定に向け準備を進めている。



## 一般質問

# 学校給食費を無償化しては

### 現時点では考えてない



いしげの 石井 茂 議員

**石井** 新型コロナウイルスの交付金を活用し、現在給食費を半額補助している。無償化した場合、町の持ち出しはどれ程か。

**教育委員会 事務局 長** 前期児童（1年生）1277人、一人当たり年額5万4千円。後期児童88人、6万6千円。総額1,266万6千円となる。

**石井** 町の総予算額を30億としても0.42%だ。給食費を無償化した全国の自治体を訪問、取材している岡崎利夫氏は、



学校給食は元気の源

「すべての子が共に学び、成長していくために給食費の無償化が重要であると、設置者と保護者が認識を共有することが大事で、総予算の1%未満でできる。」と言っている。無償化は保護者の切実な願いだ。認識を共有できないか。

**町長** 食材料費については原則保護者負担となっているが、令和2年度は全額補助、昨年今年と半額補助をしてきた（交付金活用）。

全国的な流れだと理解しているが、受益者負担

## 保育士増員は喫緊の課題では

### 子育てに携わる人数を増やすことが重要

の考え方として最低限のところがあるのではない。現地点では考えていない。

**石井** 交付金がなければできないというところか。

**町長** 一般財源を使えばできると思うが、現地点では無償化はしない。

**石井** 重大な結果には至らなかつたものの、命の危険につながりかねない事例を「ヒヤリ・ハット事例」という。こどもセンターにおける事例の有無及び内容はどうなっているか。

**健康福祉 課長** 昨年度より「ヒヤリハット報告書を作成している。いつ、どこで、誰が、どういう状態で発生したかが記されている。10件程あった。

**石井** 色々な意味で、配置基準を改善し保育士の人数を増やすことが喫緊の課題と考える。現基準に対する町長の見解は。

**町長** 基準を手厚くするのは大歓迎だ。しかし、我町のように保育士の確保ができず、受け入れ人数に制限が出る可能性もある。「みなし配置」など、一定の対策が必要と考える。

社会全体で子育てをどうしていくかは、非常に大事な議論だと認識している。

**石井** 0歳児で待機児童が出た。感想は。

**町長** 保育士の確保がでさず、大変申し訳なく思っている。

これも質問  
インボイス  
制度への対応は



「せんせい、あのね、きのうね…」



# 一般質問

## 人口減少緩和施策を進めては 多様な政策を模索している



わしや 鷺谷 清利  
きよとし 議員

### 鷺谷

人口減少緩和施策として、民間活力

を導入した住宅建設事業、ベンチャー企業誘致。大学研究施設や国県等の公共施設誘致、子ども対策の更なる充実で出生数増加と町外の子供世帯の移住促進。地域おこし協力隊を活用して地域活性化を図り、魅力あるまちづくりを進めれば自ずと他町村の人々も本町に関心を持つのでは。それが移住促進やふるさと納税の向上にも繋がると思われるが、町長はどう考えているか。

### 町長

住宅建設についてはタイミンングを見



民間活力を導入した定住促進集合住宅

て進めていきたい。  
企業誘致についてはハードルが高いので、近隣市町村の誘致によって雇用促進を図る方法もある。  
子ども政策は更に充実  
していくが、必ずしも出生数には連動しない。  
地域おこし協力隊については必要な事業があれば募集したいと考えている。

## 「いかわ創造大学」を 開設しては

実施は難しい

### 鷺谷

ロシアのウクライナ侵攻で悪影響を及ぼしている。  
分野の専門講師を招き、基礎知識を習得しながら議論を深め、本町の課題解決の指針とすべきだと  
思うが、教育長の考えは。

### 教育

費用対効果や学習成果の活かし方、町民のニーズを把握しながら将来的な検討課題としたい。

以前、社会教育委員の成人教育に対して「住民のニーズを事前に把握した上で現代的で地域に密着した課題についてもっと学習すべきだ」と提言をいただいた。

こうした課題を一つずつ解決していくために基礎知識を身に着け、意見交換を図りながらより良い方向性を模索する必要がある。  
是非、仮称「いかわ創造大学」を開設して、各

の基本的には本町の総合振興計画に沿って町民の自己実現のための社会教育、生涯学習を進めていくが、「いかわ創造大学」の実施は難しい。

## 一般質問

# 農家負担ゼロの基盤設備を

### 投資部分は、しっかり取組む



あさの 浅野  
よしゆき 義幸  
議員

**町長** 農家や関係者間で  
の合意形成が最も

**浅野** 農地中間管理機構  
関連圃場整備が創

設されたことで農家負担  
なしで圃場整備が可能と  
なった。大区画化により  
作業効率アップや維持管  
理も楽になる。しかし、  
この事業には色々な実施  
要件があり、要件を満た  
しても採択数が限られて  
いる。採択されたとして  
も調査から事業完成まで  
8年〜9年要するため町  
としても早急な取組みが  
必要ではないか。まずは、  
次世代に向けて土台作り  
から始めてはどうか。



整備を必要とする小圃場

重要で、このような制度が  
あるということを含めて  
関係者、土地改良区、ま  
た農業委員会と連携しな  
がら地区を絞ったうえで  
アンケート、又は意見交  
換という機会を設けた  
い。ただ、この要件に事  
業地域の収益性を20%向  
上というハードルがあ  
る。現状では米だけの基  
盤整備では要件該当が難  
しい状況があり、高収益  
作物を絡めないといけな  
い。また担い手の8割以  
上集約すること、どのよ  
うに収益を上げていくか

という合意形成が必要。  
おそらく、担い手の中で  
法人を作るなり法人が中  
心になって整備に向かわ  
なければ難しいと考える。  
実際は、工事費の費  
用対効果を見られるので  
最低15ha以上なければ事  
業が進めにくい。いずれ  
にしても未来への投資と  
いう意味では土地改良、  
基盤整備といった所の投  
資という部分については  
は、我々行政としては  
しっかりと取り組んでい  
く。

## 社会問題化している 空き家事情は

### 制度の周知を検討

**浅野** 年々増加傾向にあ  
る空き家問題だ

が、その要因は高齢化社  
会や核家族化があり、単  
に空き家が増えるだけで  
なく適切に管理できない  
状況も問題視されてい  
る。空き家状態になった  
時点で所有者に対して空  
き家バンク制度や解体助  
成制度など早急に知らせ  
ては。他の自治体では空  
き家の現状と危険な空き  
家防止策、活用方法など  
損害を与えた場合のリス  
クなど問題視されている  
要因をリーフレットを作  
成し周知しているが。

**町長**

空いてしまった家  
屋をそのままにせ  
ずに空き家バンクに登録  
して下さいという取り組

みは、もう少し真剣にや  
らなければならないと思う。また、  
補助金で解体した空き地  
もそのままの状況にある  
ので、その様な土地につ  
いては空き地バンクにな  
るかもしれないが、積極  
的に働きかけていく考え  
で制度を含め周知する。町  
で空き家バンク登録がな  
いとところが我々として苦  
しい所であるが一つでも  
多くバンク登録を目指し  
様々な声掛けをしてい  
く。また、事前に制度の  
周知とか解体補助金、国  
の制度を使って事業でき  
ないか検討し、制度全体  
のリーフレットかパンフ  
レットで制度を周知する  
ような準備は検討した  
い。



# 一般質問

## 高齢ドライバーに支援を

### 町として対策は必要



あきら 晃 議員  
みうら 三浦

**三浦** 高齢化が進み、高齢ドライバーが増えているが、当町の実情と高齢ドライバーのあり方についてどのように考えているか。

**町長** 町でも高齢化が進み、高齢ドライバーが増えている状況だが、昨今、高齢者のアクセル、ブレーキの踏み間違いによる事故という報道はよく目にする。

高齢になって何かあればと、免許を返納すべきというような家族の声があっても、我々のような車社会の中で運転免許の返納となれば、やはり不便を感じざるを得ない。当町で運転免許証を返

納した方の数は19名と私の思っているよりは少なく、おそらく運転免許を更新しない方もいると思う。

いずれにしても、運転免許を自主返納された高齢者に対しては何らかの対策はしていかなければならない。

町では、路線バスの撤退、またタクシー会社がいない状況のなかで、無料巡回バスを走らせているが、私が町長に就任した8年前は年間3万人を超える利用者だった。昨年度は1万3千人台で相当減ってきている。今、現状を考えると、

高齢になってなかなか自分で運転ができないという方でも、新規で乗る方は非常に少ない。

このままの巡回バスでいいとは思っていないので、何らかの見直しを踏まえたいうえで、地域交通の足として、もう少し小回りの利く対応ができないか検討している。

**三浦** 近隣の乗り合いタクシーのような小回りの利く取り組みは検討できないか。

**町長** 近隣自治体の状況を見ると、公共交通の空白地帯を埋めるた



きめ細かく回る町の無料巡回バス

めの乗り合いタクシーを行っているところが多く、タクシー事業者がその地域にあるということ

で産業振興の意味もある。今、町では巡回バスが全ての町内を巡回しており、現在、乗客が誰も

## 安全運転対策車に 対する助成は

### 補助については前向きに

**三浦** 高齢ドライバーでも個人差があり、更新の際、試験をパスすれば問題ないが、自主返納者に対する支援店が当町は少なく、増やせないか。

乗っていないでも運行している。デマンド型の乗り合いタクシーの運行という事は魅力的だが、限られた地域だけを送り迎えることは難しい。

**町長** 事業者が少なく、利用者も少ないことを鑑み、返納者や返納サービスが認知され、数が増えてきたから対応しても遅くないと考える。

高年齢者の安全運転の啓発については、こういう運動教室に来られる方は大概元気で、むしろ教室にこない高齢者にアクションを起こしていれば効果があるのではないか。

**三浦** 後付けできる誤発進防止システムな

活用されるということであれば補助については前向きに検討したいと考える。

## 第2回

# 臨時会

### 11月2日

### 3議案を可決

令和4年度井川町一般会計補正予算について

6,780万円を追加し、32億2,330万円とする。

#### 主な内容

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費
- 3,521万4千円追加
- ・住民非課税世帯等臨時特別給付金
- 3,230万円追加

#### 全員可決

令和4年度井川町国民健康保険事業特別会計補正予算

9,840万6千円を追加し、6億2,174万円とする。

#### 主な内容

- ・一般被保険者療養給付費
- 7,904万7千円追加
- ・一般被保険者高額医療費
- 1,923万2千円追加

#### 全員可決

和解及び損害賠償の額を定めることについて

#### 事故の概要

井川町が管理している町道の舗装が剥がれ、穴があいた状態となり、その穴に自動車の前輪が落ちタイヤが変形した。

#### 過失割合

50%

#### 損害賠償金額

1万8,975円

#### 対応財源内訳

全額、井川町加入の全国総合賠償保障保険で対応。町からの支出は無し。

#### 全員可決

## 陳情

12月定例会に7件の陳情書が提出され、審査の結果全陳情を採択とし、関係機関に意見書を提出した。

採択……………全員一致

◎医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げのため国に意見書提出を求める陳情

◎「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 三浦 耐子

秋田県商工団体連合会

会長 小玉 正憲

◎安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善のため国に意見書提出を求める陳情

◎再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情

秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 三浦 耐子

生き物共生農業を進める会

代表 今野 茂樹

◎学校部活動の地域移行に関する陳情書

加賀屋 俊悦

◎米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稲収穫量調査の基準見直しを求める陳情

生き物共生農業を進める会

代表 今野 茂樹

◎介護保険制度の改善を求める陳情書

秋田県社会保障推進協議会

会長 佐藤 幸美



## 町村議会議長 全国大会が 開催される

全国の町村議会の総意を結集し、我々町村議会議員が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、三年ぶりに全国の町村議会議長が参加して、11月9日、NHKホールを会場に開催された。特別決議としては、地方議会の位置付けを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現を求めることと、新型コロナウイルス感染症対策及び経済対策等に関する決議を要請した。また、期間中に県選出国會議員に対しても直接要望をした。

令和4年度

# 南秋田郡町村議会議員大会

11月17日、午後2時より、サンルーラル大湯で南秋田郡町村議会議員大会が3年ぶりに開催され、7項目の大会決議が満場一致で採択された。

- 一 湖東厚生病院の医師確保と救急医療体制の確立を期する
- 一 八郎湖水質浄化の抜本的な対策の早期推進を期する
- 一 八郎湖湖岸の堤防及び流入河川の整備を期する
- 一 八郎潟防潮水門の弾力的運用を期する
- 一 松くい虫被害対策及びヤマビル被害対策の一層の推進を期する
- 一 主要地方通路秋田八郎潟線及び一般県道道村大川線、北ノ又井川線の早期整備を期する
- 一 八郎潟駅のエレベーター設置を期する

山形県町村議会議長会参与の武田裕樹氏による「地方議会の現状と課題」についての講演が行われ、大変参考になった。特に、議会の権限を常時機動的に実行できる「通年会期のシステム」については、議論する必要があると感じた。



## 全員協議会

全員協議会には、町長の要請による、町幹部と議員の協議会と議長招集による議員のみの協議会がある。議会としては、議員間の協議会回数増を図っている。

10月20日、町長の要請による、第7回全員協議会、その後、議長招集の議員のみの協議会を開催。

### 町長の要請による 全員協議会

#### 協議案件

- 一 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

- 二 地方自治法180条第1項に基づく町長の専決処分事項について

#### その他

- 集団検診について
- ゆうゆうの補修について

### 議員のみの全員協議会

#### 協議案件

- 一 井川町議会の個人情報保護に関する条例(案)について

- 二 町内現地調査について

#### その他

- 三 町長の専決処分について

9月21日、町長の要請による、第6回全員協議会を開催。

#### 協議案件

- 一 秋田県生活排水処理事業の広域補充組織について
- 12月議会に県と市町村の連携協約案を提出
- 令和5年度、官民出資株式会社を設立
- 令和6年度、本格運用(予定)

- 二 町有地の分譲について

- 令和元年に分譲した土地を買い戻し
- 令和3年度11月に、街道団地201号、202号、203号の3棟を解体。204号も近く解体予定で、これらを分譲。

#### その他

- 障害者施設「桐ヶ丘」の建設について
- 森林組合の合併について

## 井川町議会 定数及び報酬調査特別委員会の部会

各部会とも、令和4年12月中に、特別委員会委員長に方向性を示すこととした。

### 定数部会

- ・ 11月4日 第3回部会
- ・ 11月30日 第4回部会
- ・ 12月13日 第5回部会

### 報酬部会

- ・ 11月1日 第3回部会
- ・ 11月28日 第4回部会
- ・ 12月13日 第5回部会

## 議員定数・議会運営に関する行政視察行う！

とき 11月22日

ところ 東成瀬村

参加者 11名



議会運営に関する意見交換  
(東成瀬村役場)

東成瀬村議長始め皆さんから歓迎を受け、内容の濃い研修となった。その主な内容については次のとおり。

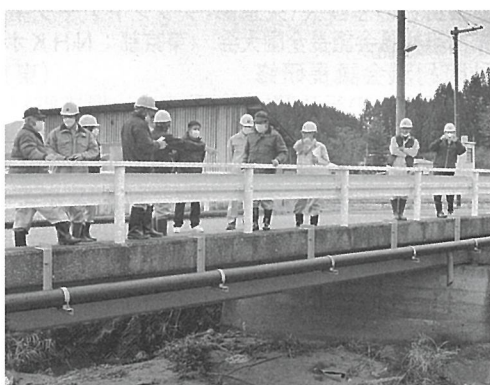
- ◎平成19年から議員定数を14名から10名に削減した。報酬については検討しなかった。
- ◎議員定数は議会運営上も10名を下回ってはならないことを確認した。
- ◎平成26年1月1日より通年議会制を採用し、議長と首長の協議により、いつでも会議を開けるようにした。
- ◎全ての議員が二つの常任委員会の構成員になることとした。

## 議員による町内現地調査及び意見交換会開催される！

11月25日、議員による現地調査と意見交換会が行われた。

### 現地調査箇所

- 一、豪雨時の街道地内浸水箇所
  - 二、8月豪雨による施田地内護岸基礎浸食箇所
  - 三、豪雨による林道施田黒坪線法面崩落箇所
  - 四、浜井川・今戸排水機場更新箇所
- その後、役場第一会議室において、意見交換会が行われた。
- 一、街道地内の水路を拡大改良して路面の越流を防ぐこと。不測の事態に備えて役場後ろに土のう用山砂をストックすること。
  - 二、施田地内護岸については、井川左岸に土砂が堆積し、流れが右岸に直接ぶつかるようになっているので、浚渫すると共に護岸の浸食防止工事を行うこと。



豪雨災害などの被害箇所調査（施田地区）

- 三、施田黒坪線の崩落については切土面の法面勾配を1割にし、ネット等による保護を行い、盛土面の法面勾配は1.5割にし、法尻にフトンかご等流動防止措置を講ずること。
  - 四、浜井川・今戸排水機場のポンプ、建屋更新については排水管設置箇所の軟弱地盤改良、維持管理上の遠隔装置設置工事や資材高騰等により、事業費が大幅に増える予想であることを確認した。
- 以上の内容を踏まえ、当局に指摘することとした。

私の



井川町の埋蔵文化財

八幡町内

幡宮 明貞

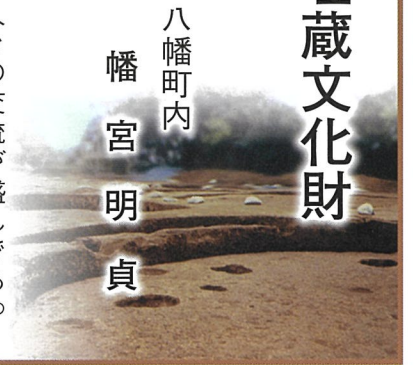
人々の交流が盛んであつた。」とあり、当時の人々の豊かで賑やかな生活がしのばれる展示となっている。

先日、大仙市の払田柵跡にある秋田県埋蔵文化財センターの特別展示室を參觀してきた。常設展示の中に、井川町の「越雄遺跡」から発掘された弥生時代の土器や石槍・石鏃も展示されていた。井川の文化財に遭遇した感動と共になぜここにいるという驚きもあった。

県立博物館の中世の展示コーナーには、「州崎遺跡」で発掘された下駄や鍬・漁具・大陸からの白磁の破片などとともに、マスコミにも取り上げられた人魚供養札がある。鎌倉期から江戸時代以前までの数百年間の遺跡で、博物館の説明書きには「数多くの住宅跡や井戸跡が見つかり、生活や生産の用具が多数出土している。周囲は堀で囲まれ広い道路の跡が確認されていることから、この地が八郎潟の水上交通の一大拠点で、

また、町の資料館には縄文時代前期の「大野地遺跡」から出土した土器・矢じり・石斧・石皿などが整然と陳列されている。弥生時代の「新間遺跡」の展示もある。新間遺跡からは靱痕のある土器が出土しており、当時、積雪地帯での稲作栽培を示すものとして貴重な発見といわれた。

埋蔵文化財は、その地域の自然や社会環境の中で、先人たちが営んできた生活の証であり、地域固有の歴史と文化を物語る遺産であるといえる。ぜひ、町の資料館や県立博物館に足を運んでみて、井川の古代人、中世の人々の生活や思いを感じてみてはどうでしょうか。



また、町の資料館には縄文時代前期の「大野地遺跡」から出土した土器・矢じり・石斧・石皿などが整然と陳列されている。弥生時代の「新間遺跡」の展示もある。新間遺跡からは靱痕のある土器が出土しており、当時、積雪地帯での稲作栽培を示すものとして貴重な発見といわれた。

埋蔵文化財は、その地域の自然や社会環境の中で、先人たちが営んできた生活の証であり、地域固有の歴史と文化を物語る遺産であるといえる。ぜひ、町の資料館や県立博物館に足を運んでみて、井川の古代人、中世の人々の生活や思いを感じてみてはどうでしょうか。

議会のうごき

- 9月20日～21日 町村議会広報研修会 (東京都：シェーンバツハ・サポー)
21日 敬老式 (農村環境改善センター)
21日 第6回井川町議会全員協議会 (役場：大会議室)
28日 南秋町村議会議長連絡協議会 (五城目町：五城館)
10月7日 井川・潟上共有財産管理組合議会定例会 (役場：大会議室)
8日 第69回秋田県消防操法大会報告会 (三種町：ゆめろん)
11日 秋田県町村議会議長会 正副会長会議、理事会 (秋田市：県市町村会館)
14日 井川町緑化並びに環境美化推進事業記念植樹 (定住促進センター周辺)
20日 第7回井川町議会全員協議会 (役場：大会議室)
25日 陳情に関する内容説明 (役場：正副議長室)
26日 茨城県鹿嶋市議会行政視察来町 (役場：大会議室)
11月1日 第3回報酬部会 (役場：第3会議室)
2日 第9回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
2日 第2回井川町議会臨時会 (役場：議場)
4日 第3回定数部会 (役場：第3会議室)
8日 国会議員会館での要望活動・秋田県関係自由民主党国会議員との懇談会 (東京都：グラントアーク半蔵門)
9日 第66回町村議会議長全国大会 (東京都：NHKホール)
10日 南秋町村議会議長研修 (東京都)
14日 秋田県知事との行政懇談会 (秋田市：県市町村会館)
17日 南秋田郡町村議会議員大会 (大潟村：ホテルサンルーラル大潟)
19日 ふるさと井川会 (東京都：日本青年ホテル)
22日 定数及び報酬調査特別委員会行政視察 (東成瀬村議会)
25日 現地調査 (町内の河川、林道他)
28日 第4回報酬部会 (役場：第3会議室)
29日 第10回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
30日 議会だより編集委員会 (以降4回) (役場：小会議室)
30日 第4回定数部会 (役場：第1会議室)
12月6日～9日 第4回井川町議会定例会 (役場：議場)

編集後記

明けましておめでとうございませう。
昨年、ウクライナとロシアの紛争やコロナ禍の影響等による物価高騰が続き、日常生活にも多大な影響を与えた1年であつたと思われませう。
また、異常気象や8月の記録的な集中豪雨によ



- 発行責任者 遠藤 政勝
編集委員長 鷲谷 清利
副委員長 佐々木 昌子
委員 石井 茂
委員 伊藤 俊郎
委員 三浦 成利
委員 高橋 剛